

食道癌全国登録 DB 操作マニュアル

日本食道学会
全国登録委員会

食道癌全国登録データベース動作環境

アプリケーション動作環境

本ファイルシステムは、FileMaker Pro 8.0 Advanced で作成したものです。FileMaker Pro 8.0 以上のバージョンであれば動作します。

下記のパソコン及び OS で動作を確認しています。

- ・ **Windows XP Professional, Home Edition (Service Pack 3)**
- ・ **Windows Vista Ultimate, Business, Home**
- ・ **Mac OS X 10.4**
- ・ **Mac OS X 10.5**
- ・ **Mac OS X 10.6**

※ Windows 7 Ultimate, Professional, Home Premium での動作環境

FileMaker Pro 10.0 以降は Windows 7 上での動作確認が正式に発表されていますので、Windows 7 をお使いの方は FileMaker Pro 10.0 以降をご購入の上、本データベースソフトをお使い頂くか、ランタイム版をお使いください。

もしくは Windows 7 には Windows XP を仮想的に実行できる XP モードが実装されていますので、XP モードで FileMaker Pro 8.0、FileMaker Pro 9.0 を開いて、本データベースソフトをお使い頂くことも可能です。

1・システム構成

FileMaker Pro 8.0 以上が PC にインストールされている方は FileMaker 版を、それ以外の方はランタイム版をご使用ください。

Windows、Mac FileMaker 版

このソフトウェアは下記のファイルから成ります。

(FileMaker Pro 8.0 以上を使用している場合でも、ファイルの拡張子は「.fp7」となります。)



食道癌全国登録.fp7
ファイルメーカーPro データベース
2,684 KB



個人情報匿名化ソフト.jar
Executable Jar File
5 KB

Windows ランタイム版

基本構成は Windows、Mac FileMaker 版及びランタイム版は全て同一です。

ただし、Windows のランタイム版のフォルダを開くと PC の設定により下記のように見える場合があります。



Mac ランタイム版



食道癌全国登録.USR と食道癌全国登録の 2 つのアプリケーションがあります。同じものですが USR の拡張子がないものをご利用ください。

全国登録で使用するファイルは以下の3つです。

- 食道癌全国登録操作マニュアル
本ファイル(実行には必要なし)
- 食道癌全国登録データインポートマニュアル
旧ソフトからのデータインポートの手順(実行には必要なし)
- 食道癌全国登録
食道癌全国登録データベースソフト
- 個人情報匿名化ソフト
個人情報を連結不可能匿名化する実行ファイル

このソフトウェアは CSV 形式のデータの個人情報部分をハッシュ関数を用いて連結不可能匿名化するためのソフトウェアです。Java で作られているため、Java がインストールされていない、もしくは古いバージョンが入っている場合は下記より最新版を入手しインストールしてください。

Java サイト：<http://www.java.com/ja/>

MacOSX は標準で Java がインストールされています。それでも動作しない方は下記より最新版をダウンロードしてください。

Java for MacOSX：<http://www.apple.com/support/downloads/java2se50release1.html>

2・ファイルの起動

Windows、Mac FileMaker 版

「食道癌全国登録データベース」から「食道癌全国登録.fp7」を開いてください。

Windows ランタイム版

「食道癌全国登録データベース」から「食道癌全国登録.exe」を開いてください。

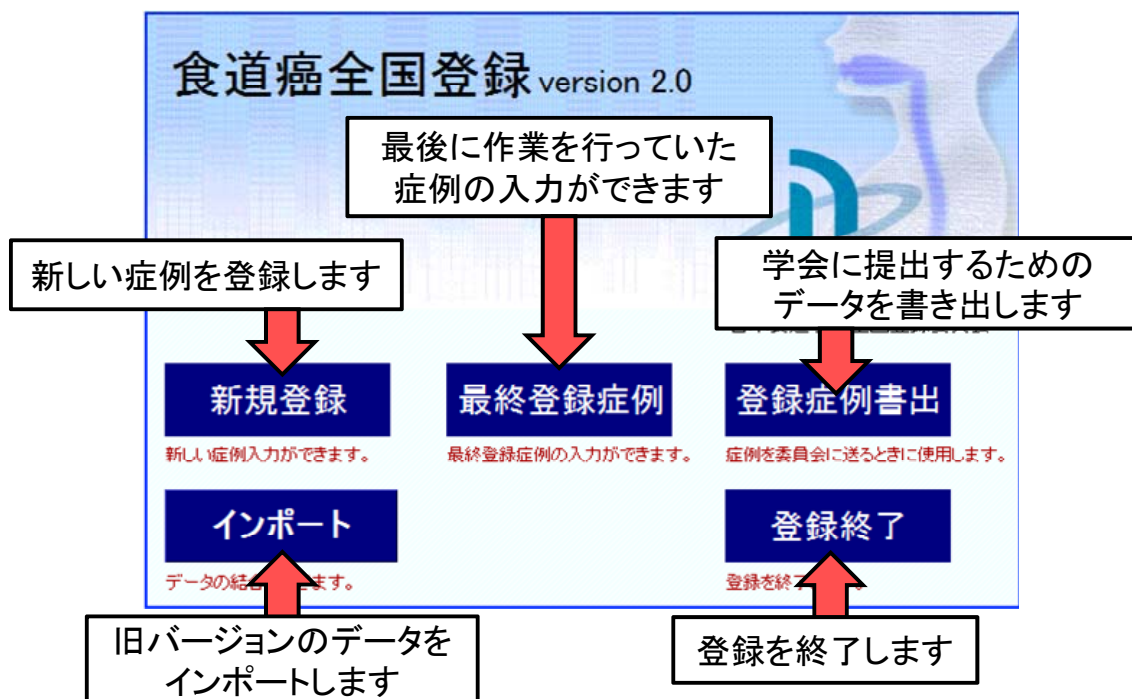
Mac ランタイム版

「食道癌全国登録データベース」から「食道癌全国登録」を開いてください。

3・Menu 画面

「食道癌全国登録.fp7」を開くと、下記の画面が表示されます。

登録を開始する場合は新規登録を選択してください。



4・施設登録

新規登録を選択すると、初回登録時のみ下記の施設登録画面が表示されます。

(2 症目例以降では表示されません)

最初に施設名と施設コードを入力してください。

入力後 **症例登録画面へ進む** を押してください。
起動2回目以降は、施設名と施設コードが入力されていればこの画面は出ません。
正しく入力するよう注意して下さい。

施設名 **施設名を入力します**
日本食道学会全国登録認定施設等に
記載された名称を入力してください。

施設コード **施設コードを入力します**
郵便物のお届け先欄に記載された
施設コードを入力してください。

症例登録画面へ進む

2症目以降では以下の画面が表示されますので、登録を行ってください。

登録施設名 日本食道学会全国登録委員会
施設コード

Menu 確認ページ 登録終了 タブ型切替

新規 各施設使用レイアウトへ 削除 ヘルプ 最後へ

個人識別欄

登録施設分類(複数可)
外科的切除
全国登録年
施設登録番号
カルテ番号
初診日/診断確定日
氏名(漢字)
氏名(カナ 全角)
性別
生年月日
年齢
現住所 〒
職業
癌家族歴(3親等以内)
治療の既往
Nonprimaryの場合

委員会使用欄

個人情報登録画面へ

診断欄

登録必須項目(空欄不可)

発見動機 a.自覚症状 b.検診/ドック c.他疾患検査・治療中 x.不明
病期期間 か月 x.不明 ←不明の場合はこちらをチェック

症状(複数可)
 a.なし b.胸痛・胸骨後痛 c.つかえ感・狭窄感 d.異常感・異物感
 e.嚥下困難 f.嘔気・嘔吐 g.食欲不振 h.体重減少
 i.リンパ節腫大 j.項声 k.その他 x.不明
その他の詳細

診断契機となった検査法
 a.X線 b.内視鏡(生検を含む) c.CT d.US
 e.リンパ節等の生検組織診断 v.その他 x.不明
その他の詳細

5・ボタンと機能

ボタン	機能
	メニュー画面に戻ります。
	入力内容一覧を確認できます。
	登録を終了します。
	新しい症例を登録します。
	各施設の診療科データベースへ移動するためのフォームへ移動します。
	現在閲覧中のレコードを削除します。 一度削除したデータは、元には戻りませんのでご注意ください。
	ヘルプフォームへ移動します。
	このページの一番下へ移動します。
	診断フォームへ移動します(*タブ型画面のみのボタンです)。
	TNMフォームへ移動します(*タブ型画面のみのボタンです)。
	治療フォームへ移動します(*タブ型画面のみのボタンです)。
	転帰フォームへ移動します(*タブ型画面のみのボタンです)。
	病理フォームへ移動します(*タブ型画面のみのボタンです)。



登録画面切り替え

で登録するレイアウト画面を変更できます。

お好きな方をお選びください。

The image shows two side-by-side screenshots of a registration form. The left screenshot shows the 'List-type' layout with a vertical sidebar for navigation. The right screenshot shows the 'Tab-type' layout with a horizontal menu and a main content area. Both screens show the 'Registration' section with various checkboxes and input fields. A red box highlights a reference note at the bottom of the right screenshot: '参考:登録必須項目に空欄があると右欄に表示されます。' (Reference: If a required registration item is blank, it will be displayed in the right column.)

全登録画面が表示されます。

診断、TNM、治療、転帰、病理ごとのフォームを表示して入力することができます。

6・データ入力漏れの確認

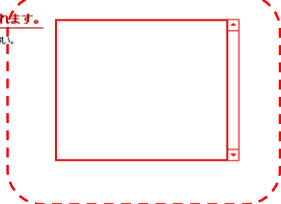
6.1. 登録漏れ項目の確認

一覧型レイアウトの一番下に、未入力の項目が表示されます。

The screenshot shows the bottom portion of the registration form. It lists various medical data points with checkboxes for 'mm', '不明' (Unknown), 'あり' (Present), and '×不明' (Unknown/Not present). The items include: 腫瘍長径, 切除, 分割切除数, 骨化程度, 深部転移, 多発病変の有無, 組織型, 原発巣の深達度(T), 最深部の組織型, 浸潤・増強様式(mr), リンパ管浸襲(v), 血管内浸襲(v), 腫瘍長径, 水平転移(M0), 直進転移(M0).

参考:登録必須項目に空欄があると右欄に表示されます。
データ入力時、委員会への症例送付時などに参考にしてください。

記入漏れの項目が
表示されます



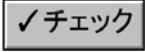
6.2. 登録進行状況の把握

※ ver2.0 からの機能です

登録画面上部にある「登録進行状況」欄(下図①)で登録の進行状況が確認できます。表示は以下の2種類となります。

「編集中」・・・必須項目に入力データがある場合

「完了」・・・必須項目のデータ入力が終了している場合

編集中の場合、 ボタン(下図②)をクリックすると、登録中の症例の未入力項目の一覧表が Excel で出力されます。



スクリーンショットは「食道癌全国登録」の登録画面を示しています。上部には「登録進行状況...」というメニューがあり、その下に「チェック」ボタンが赤い枠で囲まれています。また、「診断」「TNM」「治療」「転帰」「病理」などのタブがあり、「治療」タブが赤い枠で囲まれています。下部には「治療欄(該当部分を入力)」というセクションがあり、治療内容や手術療法、放射線治療、化学療法・内視鏡療法などの項目がリストアップされています。

7. 個人情報の連結不可能匿名化(ハッシュ化)方法

[食道癌全国登録.fp7]と[個人情報匿名化ソフト.jar]ファイルを同一ディレクトリ(同一フォルダ)内に置いてください。次に「食道癌全国登録.fp7」を開いてMenuページの「登録症例書き出し」ボタンで個人情報の匿名化を行うページへ移動します。



・Step1(ファイルの書き出し)

下記のようなページが表示されます。‘データ Export 対象年’欄に、症例の提出対象年度を入力して Export してください。データの保存と書き出しについて確認されますので、それぞれ[OK]ボタンをクリックしてください。「登録年度+施設名」の名前のテキストファイルがソフトと同じフォルダに出力されます。

データ書き出し→個人情報匿名化

Menuに戻る

Step1
症例の提出対象年を右の に西暦で入力し、下の「Export」ボタンをクリック。「登録年度+施設名.txt」がこのソフトと同じディレクトリに生成される。

Step2
「個人情報匿名化ソフト.jar」を起動し、生成された「登録年度+施設名.txt」を選択する。患者情報が連結不可能匿名化された「Hash_登録年度+施設名.txt」が同一ディレクトリに生成される。

Step3
「Hash_登録年度+施設名.txt」を事務局に送付する。

データExport対象年

西暦 年

Export

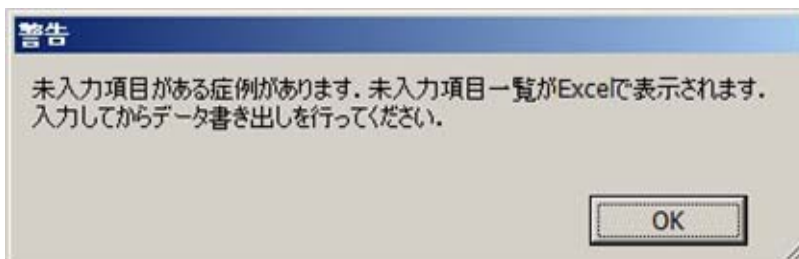
データを入力した症例が治療された年度を記入してください

「登録年度+施設名」の名前のテキストファイルがソフトと同じフォルダに出力されます

※ 2年分のデータを1ファイルに出すことはできません。上記の操作を登録年の入力を変更して2回繰り返してください。

<<未入力データがある場合>> ※ ver2.0 からの機能です

上記「書き出し」操作をした際に対象となる登録年のデータの必須項目に未入力データがある場合、ポップアップ(下図)が出て、対象年の全症例の未入力項目一覧表が Excel で出力されます。未入力データがあるとデータの書き出しができませんので、登録画面に戻って、データ入力を行ってください。



・Step2(個人情報のハッシュ化)

次に[個人情報匿名化ソフト.jar]ファイルをダブルクリックしてください。PC モニターの左上に下記のような画面が表示されます。Open File をクリックして Step1 で書き出したファイルを選択し、[Select FILE]をクリックしてください。(ファイルをダブルクリックでも可)



ここをクリックしてください

同一ディレクトリに個人情報部分が匿名化された[Hash_登録年+施設名.txt]が作成されます。

※ 2年分のデータを同時に匿名化することはできません。上記の操作を登録年の入力を変更して2回繰り返してください。

・Step3(事務局への提出)

事務局に[Hash_登録年+施設名.txt]ファイルのみを送付してください。

送付先 〒130-0012 東京都墨田区太平 2-3-13
廣瀬ビルディング 4 階
日本食道学会事務局
TEL/FAX: 03-6456-1339
E-mail: office@esophagus.jp

<用語解説>

ハッシュ関数:

与えられた原文から固定長の疑似乱数を生成する演算手法。

生成した値は「ハッシュ値」、「メッセージダイジェスト」とも呼ばれる。

不可逆な一方向関数のため、ハッシュ値から原文を再現することはできず、
また同じハッシュ値を持つ異なるデータを作成することは極めて困難である。
通信の暗号化の補助や、ユーザ認証やデジタル署名などに応用されている。

匿名化:

提供された血液や医学的情報から個人を特定できる情報(氏名、生年月日、
住所など)を取り除くこと。個人を特定できる情報は暗号に置き換えられる。
連結不可能匿名化とは、個人を特定できる情報と暗号との関係を記した情報を
完全に消去することである。

それに対し、連結可能匿名化とは、個人を特定できる情報と暗号との関係を
対応させたりストを厳重に保管し、得られた情報の個人への還元、同意条件の
変更、新たな医学的情報の追加などを可能にしておくことである。

8・登録の終了

Menu 画面もしくはデータ入力画面の‘登録終了’ボタンをクリックしてください。

終了後、続きの作業を行いたい場合は Menu 画面の‘最終登録症例’で再開してください。

2015/01/16 改定